

平成 25 年度基本計画 (案)

1. 基本的な方針

私たちシーズネットは、「安心して豊かなシニア人生を創造すること」を使命として歩んできました。昨年度は、会員が 900 名超えを維持し、仲間づくりの輪をますます大きくすることができました。

一方で、居場所づくりも、新生「地域交流サロンこのはな」などを中心に様々な活動を展開してきましたし、役割づくりの一環として取り組んできた高齢者の住まいに関することや孤立死防止の取組など、多くの事業を展開してきました。

こうした取組が評価され、「酒と語り場」、「地域交流サロンこのはな」、「あんしん住まいサッポロ」など、何回も北海道新聞や他のマスコミで取り上げられました。それだけ活動が注目されていることを感じました。

そして、今年度もまた、「仲間づくり」、「居場所づくり」、「役割づくり」の 3 つの旗印のもと、高齢者が生き活きと暮らせる地域社会、参加できる地域社会づくりの道を切り開いていきたいと思えます。

私たちは、その様に目指す地域社会の有り様を、岩見代表が掲げた「地域家族」ととらえてみたいと思えます。希薄化し繋がりがなくなっていく家族の現状に、地域が家族のような役割を果たすことで繋がっていける。そんな夢をすこしでも実現するために、シーズネットは新たな歩みをはじめたいと思えます。

以下に、本年度の事業計画を提案します。

2. 事業計画

(1) 多様な活動の場の提供による「仲間づくり」の推進

会員同士のコミュニケーションの機会を増やす場の提供が大切になっています。サークル活動の質的、量的拡大、会員同士が結びつきやすい場の提供などに努めます。

<重点目標>

- ①サークルの数を増やし、会員数 900 名台を維持します。特に趣味活動を充実させるため講師陣の発掘に努めます。また介護予防の取組も充実させます。

②各支部の活動については、活発な活動をしている支部については引き続き支援にも力を入れます。活動が停滞気味の支部については、今後のあり方を検討していきます。

③会員向けの研修や勉強会の場として、また、新規会員獲得の機会として「知恵袋」をいっそう充実し、「シニアの提言」などにも取り組みます。

④会員の交流の場として「新春交礼会」、サークル活動の発表の場として「シーズネット祭り」などにも取り組みます。

(2) 地域での「居場所づくり」の展開

地域に住む会員同士の交流の場が必要です。会員が自らサロンを開設、運営できるように支援します。同時に地域交流サロンに見られる小地域との結びつきも大切になっています。市民のサロン作りにも協力します。

<重点目標>

①地域交流サロンこのはなへの支援をはじめ、地域の各地でサロンができるよう支援をします。

②厚別区もみじ台管理センターの運営に協力し、もみじ台地区の住民の地域支え合い事業に協力します。

③札幌市のサロン運営補助事業に協力し、市民のサロン立ち上げの技術的アドバイスをします。

④3回目を迎える「地域の我が家」(全市のサロンが集うイベント)の運営に協力します。

(3) 社会貢献活動による「役割づくり」の展開

シニア世代が豊かに生きるための地域課題解決に向けての当事者の視点での地域貢献事業は極めて大切になっています。その推進のために、大量に定年(65歳)を迎える団塊の世代の方々を取り込み、助成事業の拡大とソーシャルビジネスの可能性についても検討します。また、既存の委託事業の確実な運営を目指します。

<重点目標>

- ①シニアの住まいの相談窓口として定着した「あんしん住まいサッポロ」の相談事業のさらなる充実を目指します。今年度は、2013年版の住まいの情報誌を発行します。
- ②北海道と札幌市より委託されているサービス付き高齢者向け住宅登録事業について、堅実な運営を行います。
- ③札幌市から委託されている孤立死ゼロ推進事業について、孤立死ゼロ推進センターの適切な運営を行います。全市の町内会等での懇話会、市民向けセミナーなどを開催します。また、昨年初めて実施して好評だった「団地サミット」を引き続き開催するよう取り組みます。
- ④昨年度厚労省老健事業の補助金事業により取り組んだ「高齢者向け住宅の自己評価事業」の成果を継承し、引き続き「高齢者向け住宅の相互評価・外部評価事業」について助成金の申請を行います。助成金が確定した場合は、表記事業に着手します。
- ⑤同様に、昨年度国交省居住安定化事業（補助金事業）として取り組んだ「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修事業」については、2年間の事業ですので、引き続き取り組んでいきます。なお、④、⑤については、「あんしん・快適住まいるアツプ事業」の成果を元に設立された「北海道高齢者向け住宅事業者連絡会」と協働で取り組みます。
- ⑥「大通公園花壇づくり」や「福祉除雪」「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、市民ボランティア事業に積極的に協力します。
- ⑦地域課題解決に向けて、団塊の世代を取り込めるようなソーシャルビジネス分野の進出について、次の他団体とのネットワークも加味して検討します。
- ⑧役割づくりを一層推進するため、認定NPOの資格取得に努めます。

(3) 他団体とのネットワークづくり

さまざまな事業展開を行い、それを拡大していくためには財源の確保と民間企業も含めた他の関係団体との連携を欠かすことができません。

行政からの委託事業の他に多様な助成金制度に目を向けて、シーズネット活動に適用できるような補助金や助成金にはできるだけ応募すると同時に、シーズネット独自で全ての事業を行うのではなく、行政はもとより民間企業やNPO団体などの関係団体との連携やネットワークによる拡大を目指します。

<重点目標>

①各種助成金の活用により、シーズネットの目的に沿った新たな活動を展開できるよう検討します。

今年度は、厚生労働省の社会福祉推進事業に応募します。活動内容としては、高齢者虐待の被虐待者や行き場の無い高齢者に対応するための受け皿づくりを他の民間団体とネットワークを作る中で検討する予定です（採択された場合）。

②シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間企業とも積極的に連携して、課題の解決に努めます。

③鉄西地区町内会など、日頃からお世話になっている団体との連携・協同に努めます。

平成 25 年度

年 間 主 要 スケジュール

月 日	主 要 行 事	実 施 月 日	参 加 者 (対 象 者)	備 考
4月	新入会員オリエンテーション	4月26日	1月～3月入会者	
5月	理事会開催	5月11日	理事・監事	
5月	平成25年度定期総会 理事会開催	5月28日	会員全員 理事・監事	
7月	新入会員オリエンテーション	7月26日	4月～6月入会者	
8月	地域の我が家サロンセミナー	8月31日	市民・会員	
9月	シニア提言のつどい	9月13日	会員・理事長	
9月	シーズネット祭り	9月27日	会員全員	
10月	新入会員オリエンテーション	10月25日	7月～9月入会者	
12月	推進会議忘年会	12月12日	推進会議メンバー	
1月	新春交礼会	1月24日	会員全員	
1月	新入会員オリエンテーション	1月31日	10月～12月入会者	
2月	理事会開催	2月22日	理事・監事	

定例会議

- | | |
|-----------|------|
| 1. 運営会議 | 毎月1回 |
| 2. スタッフ会議 | 毎月1回 |
| 3. 推進会議 | 毎月1回 |
| 4. 編集会議 | 毎月1回 |